

RI第2620地区 静岡第3分区

## 沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 田中作次  
 RI第2620地区ガバナー 高野 孫左エ門  
 会長 野口 郁夫  
 幹事 高田 聡  
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘  
 例会会場 沼津卸商社センター 2F  
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203  
 TEL 055-971-6500  
 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方  
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322  
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

## 会長挨拶

第1452回例会 会長挨拶

会長 野口郁夫

10月はロータリー活動の職業奉仕月間と米山月間になります。「職業奉仕」とは？の問いに対して高野ガバナーはロータリーの日常生活や、各々の職業活動を通じ行っている事が地域社会に必要な「こと」に応じられているか。また、地域社会の「必要」とする事がどのように変化しているかを知ろうとし、その必要に応えられるよう努めているか、その活動を継続することが職業奉仕であると述べられております。職業奉仕はロータリーならではの奉仕事業であります、職業分類で分かる様に、ロータリーは一業一人の原則から組織されており、異業種の集まりです。よって会員同士がライバル心を持たずに接することが出来ます。それぞれが職業の代表としてクラブに入会して活動しており、人々の職業の活性化が自動的に職業奉仕に繋がっていきます。

次に米山月間については、ポールハリスと同時代を生きた日本におけるロータリーの始祖・米山梅吉翁は広く海外を見聞する機会を得、世界の人々がお互いに助け合い、平和の実現が必要である事を望み実践した人生を送られました。米山翁の功績を称え、記念する事業が米山奨学会・米山梅吉記念館などがあります。奨学会の目的は「将来母国と日本のかけ橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること」が目的であり、累計で17,000を超え、120の国と地域になっています。いかに素晴らしい事業であるか再認識します。

## 幹事報告

## ■ 事務連絡 ■

ありませんでした。

## ■ 例会変更 ■

\* 吉原RC

11月8日(木)→特別休会

11月22日(木)→夜間例会

\* 沼津西RC

11月22日(木)→移動例会・沼津商工会議所

\* 三島西RC

10月18日(木)→移動例会・米山梅吉記念館

10月25日(木)→移動例会・職場見学

## ■ 週報到着 ■

吉原RC・裾野RC

## 本日のゲスト・ビジター

ビジター 三島西RC 栗田正司様

ビジター 沼津北RC 大野数芳様

ゲストはありませんでした。

## 会員慶事

【本人誕生日】 なし

【ご夫人誕生日】 岩本順子様 横山清子様

【結婚記念日】 なし



## スマイル報告

横山忠男 人間ドックの為に早退します。

前澤秀明 沼津に来て6ヶ月経ちました。

古泉榮一 米山奨学会。

濱田清明 今月もよろしく。

高田 聡 今月もよろしく。

前田 守 今月もよろしく。

野口郁夫 ロータリー財団。

野口郁夫 米山奨学会。

岩本義正 今月もよろしく。

大野数芳様 今月もよろしく。

岩本義正 妻の誕生日祝いありがとうございます。

横山忠男 妻の誕生日祝いありがとうございます。

## 会員卓話

### 職業奉仕について



奉仕プロジェクト委員長  
岩本義正

職業奉仕はロータリーの金看板といわれています。それは他の団体にはない奉仕分野であり、いつでも、誰でも出来るもので、いわばロータリアンの生活の規範をなすものだからです。

従来、職業奉仕はクラブと会員個人が行うものとされてきましたが、1987年のRI理事会は「職業奉仕はクラブと会員双方の責務である」と声明しました。そして、クラブの役割はロータリーの綱領をクラブの活動に適用して規範を示し、更に会員が各自の職業的能力をもって寄与できるプロジェクトを開発して奉仕を推進、奨励することにあるとされました。

しかし、2007年規定審議会でクラブ定款に入れられた四大奉仕の第二項には、「奉仕の第二部門である職業奉仕とは、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。」と明記されていて、クラブの役割には触れていません。すなわち、この第二項の表現により、これまで職業奉仕を個人の奉仕として理解してきた多くの日本人ロータリアンの意向が、国際ロータリーで再認識されたものといえましょう。

その目的を達する為に最も必要な事は「職業奉仕とはどんな行為か」を理論でなく具体的に知らせる事です。ところがこれは個人の行為である上に、日本人の陰徳主義も手伝って具体的に例証することが困難です。これが職業奉仕を「分からない」「むずかしい」ものにしてあります。そこで国際ロータリーでは「奉仕こそわがつとめ」という事例集を出して具体例を示したことがあります。しかし日本版も欲しいとの声が高かったので、著書の一人である前原もかつて「ロータリー職業奉仕事例集」を編集いたしました（現在絶版）。これらによってこの奉仕の分野は案外手近なところがあり、誰にでも、いつでもその機械があることが分かると思います。

例会場には必ず四つのテストを掲げ、これを斉唱し、時にはテストを行うのも良いでしょう。また会員の事業所、家庭に四つのテスト入りプレートを贈り、これらの利用法のコンテストを行うのも良いと思います。

職業奉仕の概念は「ロータリーの綱領」の第二項に示されています。即ちそこには、①職業の道徳的水準を高める事、②有用な職業はすべてその価値を認める事、③各ロータリアンの職業を社会奉仕の一つの機会として品位あらしめること、の三点が挙げられていて、職業奉仕とは「職業の道徳性と品位を高め、その価値を認める事」が主目的であると思われます。

職業奉仕は分かりにくいと言われます。これは他の奉仕部門ではクラブ奉仕がクラブのため、社会奉仕が社会のため、国際奉仕が

国際関係の為、というように目的論的な概念であるのに反し、職業奉仕だけが、綱領の日本語訳のように「職業を通じて」という方法論的な概念として捉える向きがあったのではないのでしょうか。職業奉仕も「職業を道徳的ならしめるため」という綱領の直訳の通り、職業そのものに向けられた目的論としてとらえると理解しやすいと思われま

す。しかし、「職業奉仕に関する声明」の中に「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる事」と明記されていますが、職業奉仕が「職業を社会奉仕の機会と考える」ものであれば、職業奉仕とは、個人の意識の問題であって、社会奉仕の手段と考えるべきものではないと思われま

す。職業奉仕はクラブの対内的な活動としてはロータリアンの修練が主ですが、もちろん外部へ向けての活動もあります。ロータリアンの大部分は業界のリーダーですから、自分の事業所の従業員、同業者、進んでは地域の一般業者に向かっても職業奉仕の理念普及する責任があります。委員会はそのため

の施策を考えるところです。  
(ロータリー入門書より一部抜粋)

## 第五回 理事会報告

### ① 11月の例会プログラムについて

- 5日 1456回 クラブ協議会(指名委員発表/担当・菊地会員)  
卓話(R財団委員会/担当・濱田会員)
- 12日 1457回 卓話(新会員卓話/担当・前澤会員)
- 19日 1458回 卓話(地区大会報告/担当・出席者)
- 26日 1459回 →例会変更 23日(金・祝)ふれあい広場

### ② 4RC合同例会について (10/26・金)

- ・場所 沼津リバーサイドホテル
- ・点鐘 18:30(受付17:30) ・ホストクラブ 沼津RC
- ・次回の会長幹事会にて詳細が発表されると思いますので、発表後にお知らせ致します。

### ③ 地区大会について (11/17-18)

- ・出席者14名+事務局
- ・バス出発時刻 野口商店→6:15 沼津駅北口→6:35
- ・懇親会 西RCとは行いませんが、クラブ内で清水町にて開催予定です。

### ④ ふれあい広場参加について (11/23・金・祝)

- ・集合時間 8:30(販売開始9:15~)
- ・出品物 例年通り3万円以上の売り上げが出来るように、例会の中で出品物について検討したいと思います。
- ・売上 例年通り全額を社会福祉協議会へ寄付する。

### ⑤ 会員増強について

- ・目標 クリスマス例会に18名、花見例会に20名になるよう目標を立てましたので、少しでも心当たりがございましたら原までご一報ください。

## ◆ 次回例会プログラム ◆ 卓話 (新会員卓話/担当 石井会員)

### 出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席計算に用いた出席者	出席率	9月15日修正出席率
15名	15名	14名	93.33%	100%

出席: 古泉・太田・原・野口・菊池 他 計14名

欠席: 梅田 計1名

MU: 計0名